

平成 29 年度 第 2 回村上市総合戦略進捗検討会議の主な意見（要約）

項目	意見の内容
林間ワサビ栽培チャレンジ事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 栽培面積も大切だが、栽培している人がどれだけいるのかが大切。もしも栽培している人がやめてしまえば、その技術は伝わらない。その点で栽培する人を把握、確認していくことが必要。
堆朱のまち村上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 村上木彫堆朱は手作業で丁寧に制作するものであることから、国内や海外の富裕層を対象にするといった発想が必要。 ● 将来に渡り文化を残すため、高価で大量生産はできない(高級品だ)が、普段使いしてほしいと言う職人側の矛盾を調整する必要がある、職人と販売の仲立ちをするコーディネーターや調整役が必要と感じる。 ● 積極的に村上堆朱が選ばれる理由やストーリーを作っていかなければならない。
林業担い手育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業の内容は大変良いと考えている。継続してこの事業を行っており、事業が定着してきていると感じる。成果が現れるまで時間がかかるが継続してもらいたい。
スケートボードの聖地「むらかみ」プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ● 瀬波温泉の活性化に向けて期待される事業。施設建設に向けた機運の醸成を図り、施設完成以後もその盛り上がりを維持しなければならない。 ● 大会や合宿の誘致には、国際的なルール等に対応していくことが不可欠であり、運営計画を十分考えなければならない。 ● 特別な建物を建設するというものではないが、スケートパークの周辺一帯をスポーツエリアとして活用できたら良いのではないかと考える。
創業推進補助金、まちなか景観魅力アップ事業補助金	<ul style="list-style-type: none"> ● むらかみ町屋再生プロジェクトの補助金や創業推進補助金の空き家利用、まちなか景観魅力アップ事業補助金などを組み合わせることが可能であれば※、まちづくりとして効果的であると考える。 [※組み合わせによって利用できる場合もありますが、市の補助金については多くの場合に重複して補助を受けることができない場合が多く、十分注意する必要があります。]